

# 創ろう！ 安心・安全・元気な街

発行の変遷	
創刊号	高橋委員長他8名で 3回/年発行開始
H21.6.15	
第8号	全世帯配付開始
H23.10.15	
第13号	2回/年発行に変更
H25.8.15	

第30号発行  
特集

「地域力」の結集として継続できた記念号に、これまで発行に携わってこられた三名の方々にお話しを伺いました。

「小域福祉ネット 牛久」の特長は情報の発信のみでなく、地域の方々の理解・協力を求め良好な関係を築いていくながら、進化を遂げた結果だと思っています。今後とも牛久の「地域力」の一層の醸成にご協力いただき、ますますようお願いいたします。

創刊号に携わった  
常泉和男さん

当時広報分科会の委員として活動に関わり、小域福祉ネットワーク活動三年目の平成一十一年に初代小池会長の強い意向があり、広報紙の発行が決定しました。誰が主体となるのか不安だらけで、成り立ちが、同僚の田中さんの手伝いをいただくことが出来、創刊号を引受けた経緯があります。

題字と主見出しは田中さんにお願ひしました。特に主見出しの「創ろう！安心・安全・元気な街」は私達の活動の原点であり、毎号固定化する工夫しました。

思いの強さが現実に

基本フレーム制作に尽力した  
田中富夫さん

創刊号の紙面のフレームは手探りで制作したため、少し使いづらかった。二号以降は担当された方々には、ご苦労をおかけしたのではないかと心配した記憶があります。常に原点を大事にしなが、進化を求め、皆様に地域住民の一員として応援しています。

第三十号で創刊発行から十四年目になります。この間に広報委員として活躍した方は、延べ二十四名となります。皆様のご協力のおかげで第八号から全家庭に配付を行なうことも出来ました。広報委員会運営も、寄稿者の真意を伝えるため、じっくり時間をかけて読み合わせ、校正を行いました。ひとえに地域力の結集が第三十号の発行につながったと確信しています。

広報委員 渡邊 賢一

## 小域福祉ネット 牛久

第30号発行  
令和5年2月  
発行  
牛久小学校区  
小域福祉ネットワーク  
広報委員会  
2月・8月発行  
発行責任者  
山本 義雄

地域への応援団

常泉さんからいただいたサンプルを基に全体構成を考案し、紙面の割り付けは専用のソフトウェアが無かったため、汎用のエクセルがワードを使ってテキストボックスを縦書きに設定して、小間切れに全体的なバランスを調整した思い出があります。

広報委員会の目  
進化が継続の原点

ネットワークの活動を読者の皆さんに理解していただくため、また少しでも興味を持って読んでいただくために様々な工夫が必要でした。

例えば、広報紙の主見出しの中に「ジグソーパズルで人と人のつながりの大切さ」を図案化したものもそのひとつです。

また、第四号から「あいあい広場」のコーナーを設け、チャットした気になる情報や心温まる話題をいろいろな場所、地域の皆さんが楽しんでいただけるように連載することにしました。



( 広報委員の編集風景 )

「地域の絆」「みんなの力のつながり」..これが「小域福祉ネットワーク」です

毎月第二の日曜日は駅前「うしくにぎわいマーケット」が開かれております。今回その一角をお借りしてPR活動をさせていたいただきました。社会福祉協議会から着ぐるみ「四葉ちゃん」も参加しました。

ポップコーンの配布もあり、大いに盛り上がり、お客様は七十名ほど立ち寄りがありました。



(参加者のアンケート風景)

市原市表彰 社会功労表彰

小池茂夫さん 中 孝壽さん  
阿部康子さん 渡邊賢一さん 鈴木みちさん

牛久小学校区小域福祉ネットワーク会長の志村紀嘉さんが逝去されました。故人は、平成十九年ネットワーク設立時に理事に就任し、平成二十七年からネットワーク会長として地域福祉の推進に尽力されました。生前のご活躍に敬意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

昨年のサッカーW杯カタール大会で長友選手が日本選手を鼓舞した『ブラボー』賞賛の意を込めて発する感嘆詞ですが、日常生活で使用される機会はまれです。いまは社会全体が不安だらけ「飛躍と跳躍の象徴、卯年の本年」地域力でお互いがブラボーと称えあえる1年にしたいものです。安心生活見守り事業の連絡先は山本義雄になります。☎090-2641-7047

山本 義雄 【広報委員長】



このアンケート結果をもとに、各種構成団体の方々と共に、安心・安全・元気な街づくりを目指して活動していきます。ご協力ありがとうございます。

小域福祉ネットワーク活動  
アンケート調査の実施

ご存じでしたか？  
去る十二月十一日牛久駅前において牛久小学校区小域福祉ネットワークの街頭PR活動を実施しました。

アンケート集計結果 (51枚)

市原市内にお住まいの方  
牛久地区の方 50%回答

市原市で組織されている  
小域福祉ネットワークについて

・知っている	30%
・名前だけ知っている	30%
・知らない	40%

あいあい広場

皆吉団地の場について紹介します。平成二十八年六月に高齢者体操で発足して六年半、現在は通いの場として毎週木曜日十三時三十分、全額補助金で町会会館にて行っています。

メンバー構成は男性二名、女性十八名で平均年齢は七十七歳です。当初は外部講師を招いてふまねと運動も行っていましたが、現在はコロナ感染対策を十分に行いラジオ体操から始まり、いちはら筋金近トレ体操、いいんばい体操、DVD高齢者体操、リズム体操、脳トレ、高年齢者探検、ジェスチャー、高齢者ゲーム等を行っています。

マンネリ化防止のため、日々新たな体操、ゲーム等を取り入れ、リーダーは体操毎に分担して活動しています。



(皆吉団地の皆さんのゲーム風景)

参加者からは「体が軽くなり動きやすくなった」「皆の顔が見られて会話が楽しい」「ポイントカードが貯まるのも楽しい」「ゲームが面白い」等好評です。笑って、話して、体を動かすのが健康の元、みなさん通いの場を始めて見ましょう！

「地域の絆」「みんなの力のつながり」..これが「小域福祉ネットワーク」です



